

Title	二月の天象
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1924), 4(37): 67-67
Issue Date	1924-01-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/160007">http://hdl.handle.net/2433/160007</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

## 二月の天象

**太陽** 赤経は二〇時五分より二二時四八分迄増加し、赤緯は南一七度二分より南七度三三分迄減退する。五日午前一時五〇分立春。二十日午前六時五二分雨水節、太陽は寶瓶宮より双魚宮に入る。

**月** 五日午前十時二八分新月、十三日午前五時九分上弦、廿一日午前一時七分満月、廿七日午後十時十五分下弦、十三日午前十時四十二分遠地點を、廿六日午前〇時五十四分近地點を通過す。月蝕は皆既食、廿日午後十一時一八・三分より廿一日午前二時五八・五分迄、

**水星** 一日赤経一九時一〇分六秒、赤緯南二一度〇分、一六日赤経二〇時二三分三一秒赤緯南二〇度一八分射手座を順行中。三日午後〇時二三分月と合（月の南二度三一分にあり）五日午後二時最大離隔（西方二五度三〇分）十日午後一時降交點通過。廿日午後七時遠日點通過。視直徑七・二六五・一八秒。光度〇・二一負。一等（五日）二二十五日十五日地球よりの距離一億七千〇四十三萬一千餘浬。

**金星** 一日赤経二二時九分四七秒、赤緯南六度四三分一十六日赤経〇時一五三分四秒、赤緯北一度四分水瓶座から魚座迄順行する宵星。八日午前七時五五分月と合（月の北一度一分にあり）廿六日午後二時昇交點を通過す。視直徑一・三二二・一五・三〇秒。光度負三・五一負三・六等（五日）廿五日）十五日地球よりの距離一億六千七百七十五萬九千余浬。

**火星** 一日赤経一六時二五分五一秒、赤緯南一度二五分、十六日赤経一七時六分四八秒、赤緯南二度三九分蠍座から射手座迄順行する曉星。十四日午前一時五二分木星と合（木星の南〇度二六分）にあり、廿九日午前四時二二分月と合（月の南四度九分）にあり、視直徑五・三二一・六・二四秒。光度一・四一・一等。十五日地球よりの距離二億四千四百十六萬二千余浬。

**木星** 一日赤経一六時五一分三秒赤緯南一度四八分、一六日赤経一七時〇分四八秒赤緯南二度三三分蛇座を順行中の曉星。廿八日午後二時三八分月と合（月の南四度二六分にあり）極直徑三・一八〇・三四・一四秒（三日）廿九日）光度負一・五一負一・六等（五日）廿六日）十五日地球よりの距離八億三千九百二十五萬八千余浬。

**土星** 一日赤経一四時三分四九秒、赤緯南九度五二分、三六日赤経一四時四分七秒赤緯南九度五〇分、乙女座にありて夜半出現す。十二日午前八時留、廿五日午前九時十五分月と合（月の南二度二分にあり）極直徑一五・六六・一〇秒。外輪の長軸十四日に四・三〇秒、短軸一・五三秒。光度〇・七等。十五日地球よりの距離十三億九千〇四十六萬八千余浬。

**天王星** 十六日赤経二三時一〇分四九秒、赤緯南六度四分水瓶座を順行中。七日午後三時四〇分月と合（月の北〇度三三分）にあり、十六日地球よりの距離三十一億四千〇五十九萬

余浬。

**海王星** 十六日赤経九時二五分一五秒、赤緯北一度二六分獅子座にあり。九日午前十時衝。廿日午前四時二四分月と合（月の北一度三三分）にあり、十六日地球よりの距離四十三億四千九百〇三萬四千浬。

**流星群** 二月には著しき流星群はなし。

赤徑 赤緯 附近の星

上旬 一四時二二分 北五二度 牛飼座北鄰  
其他駁者座（七日）二十三、蛇、蛇遣、獅子、ヘルクレス、双子座等にも小流星群あり  
**アルゴール極小推算**

二月六日 午前二時二十六分

八日 午後十一時十六分

十一日 午後八時〇五分

十四日 午後四時五十四分

廿八日 午後十一時五十四分

**日の視半徑**

二月十日 一六分一四秒

二十日 一六分一二秒

**二月夜明、日出入の時刻及其方位**

夜明 月出 日没 日暮 方位

一日 六〇分 六四三 五〇七 五二二 三・一

十五日 五五七 六三三 五三二 五二六 一五・六

**二月南中の星座**

二月一日 駁者 牡牛 オリオン

十六日 駁者 雙子 オリオン